

ベール

世界のムスリムの暮らしー同時代を生きる

G0207

中国



※ 色が違う場合があります



イスラームでは、女性は「美しいところは人に見せぬよう」にすることが望ましいとされ、頭髪をしっかりと覆うベールをかぶったりする。そのベールを、アラビア語でヒジャーブという。中国の回族も、成人女性は頭からすっぽりかぶるタイプのものを使ったりしている。子ども向けのものとしては、四角い布でできた「ファンジン（方巾）」というものが、頭を覆ってから、あごの下に回した部分をクリップでとめて着用する。中国の中でも地域や年代によって差がある。

【横山先生からのひとこと】

中国の南部の雲南省でも、1990年頃まではムスリムの女性がヒジャーブをつけているのをあまり見かけたことがありませんでした。しかし、21世紀に入った頃から状況が一変しました。ほとんどの若い女性がヒジャーブを日常的に身につけるようになりました。

【今中先生からのひとこと】

中国の西北部の陝西省西安市では、日常的にヒジャーブを着用している女性はあまり多くありません。年配の女性の中には、普段、白い帽子をかぶっている人もいます。ただし、礼拝の時はヒジャーブに着替えて女性用のモスクに集まってきます。